

茨城工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0016		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 4		
開設学科	国際創造工学科 化学・生物・環境系		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		4		
教科書/教材	ウィズダム英和辞典（三省堂）、総合英語Evergreen（いいうず書店）、総合英語Evergreen English Grammar 27 Lessons（いいうず書店）、ACTIVE Skills for Reading INTRO（Cengage Learning）、コーパス4500（東京書籍）						
担当教員	大川 裕也,伊東 賢						
到達目標							
1. 初級～中級レベルの英文を読む、または聞いて理解することができる。 2. 基礎的および発展的な文法事項を理解し、活用・運用することができる。 3. 読解やコミュニケーションの基礎となる語彙力を高める。 4. 既習の文法、語彙を用いて、自分自身を含む身の回りの様々な事柄を正確な英語で表現することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	初級～中級レベルの英文を正確に読む、または聞いて正確に理解することができる。		初級～中級レベルの英文を読む、または聞いて理解することがおおむねできる。		初級～中級レベルの英文を読む、または聞いて理解することができない。		
評価項目2	基礎的および発展的な文法事項や構文を理解し、正確に活用・運用できる。		基礎的および発展的な文法事項や構文を理解しており、おおむね活用・運用できる。		基礎的および発展的な文法事項や構文を理解できず、ほとんど活用・運用できない。		
評価項目3	読解やコミュニケーションの基礎となる語彙を理解し、適切に運用できる。		読解やコミュニケーションの基礎となる語彙を理解し、おおむね運用できる。		読解やコミュニケーションの基礎となる語彙を理解できず、ほとんど運用できない。		
評価項目4	身の回りの様々な事柄や自分の意思を英語で正確に表現することができる。		身の回りの様々な事柄や自分の意思を英語である程度表現することができる。		身の回りの様々な事柄や自分の意思を英語で表現することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C)							
教育方法等							
概要	英語で情報や考えを正確に理解し、適切に伝えられるようになることを目的に、英語で「読む」「聞く」「書く」「話す」の4つの技能を伸ばす。「読む」と「聞く」技能の修得に向けては、加工されていない生の英文や音声にも触れる機会を積極的に設ける。「書く」と「話す」技能については、平易な語彙や英文で堂々とアウトプットを行っていくためのトレーニングを行う。						
授業の進め方・方法	リーディングテキストや文法書をベースとした読解力・聴解力の養成に重点を置いた授業となる。						
注意点	一説によると日本語を母国語とする者が英語をマスターするためには少なくとも3000時間の学習が必要であるという。他方、義務教育段階から高専を卒業するまでの間に受講する英語の授業時間は、どう見積もっても1000時間には届かない。この事実が意味するのは、授業を受けるだけで英語を修得することは不可能であるということ、つまりは授業時間外にどれだけ英語に触れる時間を自分でもてるかがカギになるということである。この授業が各自の自発的・主体的な英語学習の後押しとなることを願っている。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 【27 Lessons】L 2 0 比較(1) 【ACTIVE】		1年間の授業の進め方を理解する。 新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		2週	【27 Lessons】L 2 1 比較(2) 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		3週	【27 Lessons】Plus 比較 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		4週	【27 Lessons】FE 比較 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		5週	【27 Lessons】L 2 2 関係詞(1) 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		6週	【27 Lessons】これまでの復習 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。これまでに学習した内容の理解をさらに深める。		
		7週	中間試験				
		8週	試験返却・解説 【27 Lessons】L 2 3 関係詞(2) 【ACTIVE】		不正解の箇所の確認及び復習を行う。 新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
	2ndQ	9週	【27 Lessons】L 2 4 関係詞(3) 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		10週	【27 Lessons】Plus 関係詞 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		11週	【27 Lessons】FE 関係詞 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		12週	【27 Lessons】L 2 5 仮定法(1) 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		
		13週	【27 Lessons】L 2 6 仮定法(2) 【ACTIVE】		新出の語彙と文法事項を理解し、4技能の向上を目指す。		

		14週	【27 Lessons】これまでの復習	これまでに学習した内容の理解をさらに深める。
		15週	期末試験	
		16週	試験返却・解説	不正解の箇所の確認及び復習を行う。
後期	3rdQ	1週	【27 Lessons】 L 2 7 時制の一致と話法【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		2週	【27 Lessons】 Plus 時制の一致と話法【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		3週	【27 Lessons】 Option 1 疑問詞と疑問文【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		4週	【27 Lessons】 Option 2 否定(1)【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		5週	【27 Lessons】 Option 3 否定(2)【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		6週	【27 Lessons】これまでの復習【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。これまでに学習した内容の理解をさらに深める。
		7週	中間試験	
		8週	試験返却・解説 【27 Lessons】 Option 4 名詞構文・無生物主語【ACTIVE】	不正解の箇所の確認及び復習を行う。 新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
	4thQ	9週	【27 Lessons】 Option 5 代名詞(1)【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		10週	【27 Lessons】 Option 6 代名詞(2)【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		11週	【27 Lessons】 Option 7 前置詞【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		12週	【27 Lessons】 Option 8 接続詞(1)【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		13週	【27 Lessons】 Option 9 接続詞(2)【ACTIVE】	新出の語彙と文法事項を理解し、4 技能の向上を目指す。
		14週	【27 Lessons】これまでの復習【ACTIVE】	これまでに学習した内容の理解をさらに深める。
		15週	期末試験	
16週		試験返却・解説	不正解の箇所の確認及び復習	
評価割合				
		試験	課題	合計
総合評価割合		70	30	100
基礎的能力		70	30	100
専門的能力		0	0	0
分野横断的能力		0	0	0